

第8回

文化庁 平成30年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業『実演芸術連携交流事業』」

## 実演芸術連携フォーラム

## 〇〇を実現するためには、だれと連携することが必要でしょうか

全国あらゆる人々へ芸術体験の機会を拡げるために。

実演芸術分野の専門家として、何が求められるでしょうか。専門性を高めるためには、どんなことが必要でしょうか。

芸術団体、劇場・音楽堂等の文化施設、文化関連団体、自治体など、文化芸術にさまざまな形で携わる皆さんと、一緒に考えます。人脈、ネットワークを広げる機会としても、ぜひご参加ください。

日程

2018年**7月10日**（火）13:00～18:00

会場

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟セミナー室

住所：東京都渋谷区代々木神園町3-1（小田急線「参宮橋」駅 徒歩7分、千代田線「代々木公園」駅 徒歩10分）

参加費

無料 ※情報交換会は参加費4,000円

●手話通訳あり ●途中の入退場も可能 ●時間は予定、変動する可能性あり

## 13:00-13:30 ◎基調講演：文化庁

2017年6月に改正された「文化芸術基本法」、そして2018年3月には今後5年間の国の文化政策の指針を示した「文化芸術推進基本計画」第一期の策定。これらを礎として、これからの文化芸術の創造、継承、発展にむけた文化行政の機能強化の展望と、劇場・音楽堂等や芸術団体による連携促進への期待をお話します。

## 13:30-15:30 ◎第1部「人材交流から描く未来図～国内専門家フェロシップ研修報告から」

実演芸術分野では、ゆたかな芸術創造を支える専門性をもった人材が不可欠。その専門性を高めるためには、キャリアアップやキャリアシフトなど、段階に応じた研鑽の機会が必要です。そして、ネットワークを広げていくためには、核となる人材が重要です。

文化庁「国内専門家フェロシップ制度」では、文化施設、芸術団体という枠組や職域、そして地域を超えた人材交流が生まれています。研修を通して、研修先、派遣元の双方にもたらす効果と可能性を考えます。

## ●報告者（所属先）／研修先

石川絵理（NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク）／国際障害者交流センター ビッグ・アイ

小川恵祐（南城市文化センター シュガーホール 制作）／島根県芸術文化センター グラントワ

五田詩朗（NPO法人こどものみかた 主宰・企画制作）／ミュゼザ川崎シンフォニーホール

佐々木真美（島根県芸術文化センター グラントワ 制作）／世田谷パブリックシアター

高橋郁乃（アーツカウンシル新潟 プログラムオフィサー）／ロームシアター京都

樋口寿弥（知多市勤労文化会館 館長）／可見市文化創造センター

## ●進行：楳屋一之（神奈川県国際文化観光局舞台芸術担当部長 兼 青少年センター参事）

※報告順は変更する可能性あり

## 15:45-18:00 ◎第2部「新たな観客創出にむけた取り組みの広がり」

他分野との連携、他地域とのネットワークづくりは、新たな観客創出にむけても欠かせない視点です。芸術団体、劇場・音楽堂による先進的な取り組み事例から、実現にむけた具体的な連携のあり方を考えます。

## ●パネリスト

山岸淳子（公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団）…『耳で聴かない音楽』実現までのプロセス

ほか、登壇者はウェブサイトにて発表 <https://www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/>

## 18:30-20:30 情報交換会 ●参加費4,000円

【会場】<sup>ワンツーチー</sup>万豚記 代々木店（渋谷区代々木4-8-1）

※フォーラム会場から徒歩3分

フォーラム終了後は、フランクにお話ししながら皆さんと交流を深めましょう。



主催：文化庁／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕

## 連携フォーラム宣言

実演芸術連携フォーラムは、2013年から継続的に開催する実演芸術に携わる専門家の交流の機会です。2015年より実演芸術連携交流事業の一環としています。

### 劇場、音楽堂等と芸術団体の力を生かし 実演芸術、地域文化をより豊かなものに

2012年6月、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律が制定され、2013年3月文部科学大臣により策定された指針が示され、今日における劇場、音楽堂等の目指すべき姿が現れてきました。実演芸術の力を生かし、すべての国民が心豊かな生活を実現できる場、地域コミュニティの創造と再生を通じ地域の発展を支える「新しい広場」として、国際社会の発展に寄与する「世界の窓」としての役割が期待されています。

第2回全国劇場・音楽堂等連携フォーラムに集った、劇場、音楽堂等と実演芸術関係者は、人々が文化芸術を創造し、鑑賞し、体験することができる豊かな環境をつくり出すことを共通目的に、劇場、音楽堂等と芸術団体が連携を深め、相互に学び、経験を共有し、実演芸術の質の向上と全国での機会の創出のために不断の努力を積み重ねていくことが重要であるとの認識で一致しました。そのためには、制作、技術、実演、経営等の専門家の育成・確保を図り、その活動の場を広げ、活動の質を高める必要があることも確認しました。

私たちは、これらのことを成し遂げていくために、継続的に努力し、積極的な政策提言を行わなければならないと考えています。そして、国、地方公共団体に対して、文化芸術の振興に果たす劇場、音楽堂等と実演芸術団体の役割を認識し、これらを活かすために、効果的な政策を形成し予算の拡充を図るよう働きかけていきます。

私たちは、今後、「全国劇場・音楽堂等連携フォーラム」を継続的に開催し、「実演芸術、地域文化をより豊かなものに」するために連携して活動に尽力することを宣言します。

2014年1月20日 第2回全国劇場・音楽堂等連携フォーラム  
劇場・音楽堂、実演芸術団体 参加者一同

## 実演芸術連携交流事業とは

国内外のプロデューサー、アートマネジメント人材、舞台スタッフ、実演家等の実演芸術に携わる専門家同士の交流促進を通じて、芸術文化を支えるグローバル人材の育成と国外への発信力の強化を図り、わが国の実演芸術の一層の振興に資することを目的とし、2015年度より開始した事業です。「国内専門家フェロシップ制度」「実演芸術連携フォーラム」「実演芸術国際シンポジウム」の3つの取組を通して、実演芸術に携わる専門人材の育成と、専門家同士の横断的なネットワーク構築を目指します。

<http://www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/>



## 申込方法 | 第8回 実演芸術連携フォーラム

◎メール [entry@geidankyo.or.jp](mailto:entry@geidankyo.or.jp) …下記申込欄と同様の必要事項を明記してお送りください。

◎FAX 03-5909-3061 …下記申込欄にもれなくご記入の上お送りください。

- ◆申込み頂いた方の、氏名、所属、担当職務・役職を記載した参加者リストを当日配布予定ですのでご了承ください。
- ◆申込締切日後の参加申込や変更については担当までご連絡ください。
- ◆当日は取材、記録撮影などを行います。
- ◆会場の都合上、申込者多数などにより、ご希望に添えない場合があります。
- ◆頂いた個人情報は、今後の同種の芸術協関連事業のご案内等に使用させていただきます。

## FAX申込フォーム

申込締切

7月6日(金)

ご所属(団体名・館名) ※フリーランスの方は所属は空欄で結構です		TEL
		FAX
お名前(ふりがな) 様	ご担当職務・役職	<input type="checkbox"/> 情報補償が必要です ※手話による情報補償が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
Eメール		<input type="checkbox"/> 情報交換会に参加します ※参加費4,000円は当日お支払いください ※情報交換会には手話通訳はつきません
お名前(ふりがな) 様	ご担当職務・役職	<input type="checkbox"/> 情報補償が必要です ※手話による情報補償が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
Eメール		<input type="checkbox"/> 情報交換会に参加します ※参加費4,000円は当日お支払いください ※情報交換会には手話通訳はつきません
お名前(ふりがな) 様	ご担当職務・役職	<input type="checkbox"/> 情報補償が必要です ※手話による情報補償が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
Eメール		<input type="checkbox"/> 情報交換会に参加します ※参加費4,000円は当日お支払いください ※情報交換会には手話通訳はつきません

【お問い合わせ】公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]

担当：藤原

〒160-8374 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F

TEL: 03-5909-3060(平日10時~18時) FAX: 03-5909-3061 Eメール: [renkei@geidankyo.or.jp](mailto:renkei@geidankyo.or.jp)



主催：文化庁／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]

協力(申請中)：公益社団法人全国公立文化施設協会／劇場、音楽堂等連絡協議会／公共劇場舞台技術者連絡会